

利用ソフトウェア	IBMホームページビルダー		
授業名	ソフトウェア演習	名前	土橋 喜

1. IBMホームページビルダーの特徴

ホームページ作成ソフトはいくつもありますが、IBMホームページビルダーは初心者にもよく使われ、HTMLの知識がなくてもホームページを作成して公開することができるようになっています。さらにHTMLを自分の好みに合わせて書きたい人にも使えるように、さまざまな機能と素材が用意されています。

まずソフトを起動すると、ウェルカムウインドウが開きます(図1)。この中にあるガイドマップには、冊子体のマニュアルがそのまま入っていますので、初心者の人で

もそれを読みながらホームページの作成を独習することができます。インターネットのしくみ、ホームページのしくみ、ホームページを公開するまでの流れ、ホームページ作成前に知っておきたいことなど、初めてホームページを作成する人のために基礎的な知識を分かりやすくイラストや動画で解説しています。

2. 使い方

初めてホームページを作成するときは、まずウェルカムウインドウにある「かんたん」を試してみるとよいでしょう。

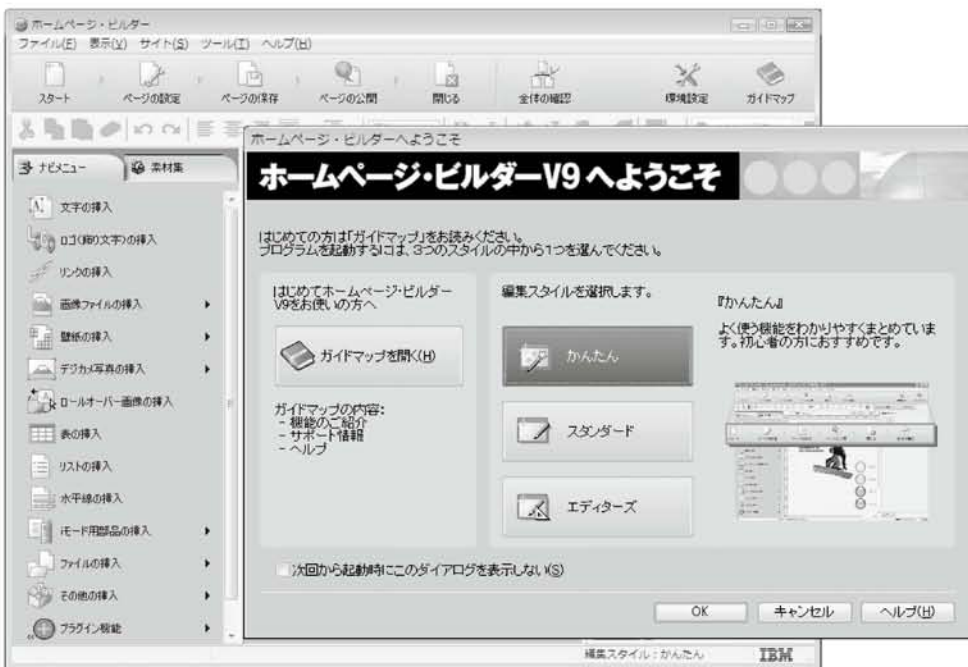


図1：ホームページビルダーの起動画面

「かんたん」をクリックするとホームページを入れておくフォルダ(サイト)の作成や、ひな形を使って実際のページを作成したり、修正したりすることができます。複数のページを作成した場合はすぐにリンクをたどることもできます。

ただし内容的には見出し程度しか入っていませんので、完成させるためには自分でいろいろ必要な情報を入力する必要があります。これらの操作をナビゲーションとメニューの選択によって進めることができます。

ホームページ作成ソフトが開発される前はHTMLのタグを一行ずつ書いたり、画像ソフトで画像を作成したりして、まさに手作業で作成していました。このような経験を少しでもしたことがある人は、「スタンダード」や「エディターズ」をクリックして使えるようになっていきます。「エディターズ」ではHTMLのタグを1行ずつ編集ができます。

3. ウェブアートデザイナー

ホームページでは文字だけでなく画像を使うことも普通に行われており、文字だけのページをより効果的に見せてくれます。ホームページビルダーにもウェブアートデザイナーという画像作成プログラムが備わっています。この機能を使えばウェブでよく見かけるロゴマークやクリックできるボタンなどを、簡単にしかもオリジナルのものを作成することができます。

4. ウェブアニメータ

ホームページにアニメーションを表示すると文字や静止画にはない効果を見る人に与えることができます。ホームページビルダーにもGIF形式のアニメーションを作成するウェブアニメータという機能が用意されています。この機能を使えば、いくつかの画像を組み合わせるとパラパラ漫画のようなものを作成することができます。ホームページビルダーに付属している素材集の中にも多くのアニメーションが含まれていますので、それらを使うこともできます。

5. ウェブビデオスタジオ

最近はデジタルビデオが普及したため、撮影した画像を手軽にホームページに公開できるようになっています。公開する場合は撮影したビデオを編集したり、いろいろな効果を加えることもあります。ホームページビルダーに付属しているウェブビデオスタジオを使えば、デジタルビデオカメラからの画像の取り込みを行うことができます。さらにビデオの編集やトリミングなどの加工を行い、ホームページに公開できるビデオファイルやGIFアニメーションを作成することができます。

参考文献

IBMホームページ・ビルダーガイドマップ